

# 予防がいちばん

## アミノインデックス検査を用いたがん検診の結果より

(第3報)

### がん検診を受けましょう

熊本市の日本赤十字社健診センターを設立された小山和作先生の著書に「予防がいちばん」という本があります。

先日、南部町の研修でこの

健診センターを見学させていただき、小山先生のお話しを聞かせていただきました。がんにかかった人が「俺は大丈夫だと思っていた。想定外だ。」とよく言われるそうです。しかし、何の対策も立てていなければ想定していなかったことと同じ。予防、検診がいちばん！と言われ、同感でした。

### 1500人を測定

南部町では平成23年9月「がん征圧宣言」を町議会会で可決いただき、平成24年1月から全国初のアミノインデックス(AICS)を用いた住民検診を開始し、本年2月末

までにはAICSを測定できた方は、西伯病院で912名、集団検診で442名、町外の方175名の1529名となり、これまでに7名の方に早期癌を中心とした癌を発見させていただいております。

### 集団検診受診者の特徴

集団検診でAICSを採血

された442名の方ではランクCの方が40%と非常に高率に認められ、胃癌が24%と最も高率でありましたが、これまでにランクCの方の約半数の方しか精密検査を受けておられませんが、

精密検査を受けられた方の中には、早期胃癌1名、早期腎臓癌1名、計2名の癌が発見され治療が行われていますが、ランクCで精密検査を受けておられない約半数の方々にも同数のがんの存在が疑われ心配されます。

### 西伯病院受診者の特徴

西伯病院を受診していただいた912名の方では、がん発生の危険性が高いランクCの方は35%に認められ、胃癌の頻度が22%と最も高率で、その大半の方が精密検査を受けられました。その結果、胃癌3名、大腸癌1名、前立腺癌1名、計5名の癌が発見され、治療が開始されております。

どの癌もランクCの方50、60名に1名の発見頻度ですが、肺癌、乳癌、子宮・卵巣

の方では197名に1名、2個の方では197名に1名、3個の方では55名に1名、4個以上の方では14名に1名、複数の癌の方では15名に1名と複数の

がん腫にランクCがついた方、特に3個以上のがん腫にランクCがついた方では14、15名に1名と極めて高率にがんが発見されています。これはアミノ酸ががんの発生ともにもがん腫に関係なく一定の動きを示すことによるものと考えられます。

町外からの受診者を1日2名ずつお受け致しておりますが、遠くは大阪、広島などからもお越しいただいております。町外受診者175名の方でランクCの方は31%と南部町の方よりやや低い傾向にありましたが、やはり胃癌が19%と最も高率でありました。

### 町外受診者の特徴

精密検査は町外で受けられる方が多く、癌腫の発見に至っておりますが、ランクCが複数に付く方もおられ、早めの精密検査をお勧め致しております。

ランクCの数と癌発見率(町内) (表1)

ランクCの数	発見癌数	癌発見率
1個：197例	1例	1/197
2個：109例	2例	1/55
3個：42例	3例	1/14
4個：15例	1例	1/15
計：363例	7例	1/52

集団検診受診者の方の中には、3個以上のランクCがついていて精密検査をまだ受けておられない方が多く大変心配致しております。どうか早急に精密検査を受けていただきますようお願い致します。

現在南部町では、がん検診、特定健診受診率はともに30%前後とまだまだ低率であります。AICSの結果を参考に、がん発生の危険性を知った上でのがん検診の受診に努めていただき、生活習慣病を予防し、健康で元気な町づくりを進めていただきますようお願い申し上げます。

西伯病院  
院長 木村 修